

平成25年度

公益財団法人矯正協会事業報告

1 矯正支援事業

(1) 調査・資料収集及び普及啓発

ア 矯正図書館

- (ア) 刑事政策及びその周辺分野の新動向・歴史に関する資料の収集を行いつつ、所蔵資料の閲覧・貸出・レファレンス・複写等のサービスの充実に努めた。
- (イ) 平成25年度の利用状況は、利用者数777人、出納冊数2,936冊、複写サービス枚数15,299枚、相談(レファレンス)件数263件であった。
- (ウ) 所蔵資料の総データ件数は、約173,400件となっており、その一部のデータベース化を継続している。
- (エ) ホームページやSNS(フェイスブック・ツイッター)で、「文献情報」その他のサービスを継続して行った。
- (オ) 一般用及び矯正職員用の「OPAC(オンライン文献目録)」各々について、随時データの更新を行い、検索可能なデータ件数は、一般用75,617件、職員用81,996件となっている。
- (カ) 監獄雑誌全巻(明治時代)電子版をホームページ上で公開した。

イ 国際交流

- (ア) 平成25年11月、中国監獄工作協会張金桑副会長ら6名が来日し、矯正局の訪問、府中刑務所、愛光女子学園の視察等により、両国矯正関係者の親善交流を深めた。
- (イ) 当協会発行の「刑政」誌と大韓民国矯政協会発行の「矯政」誌の交換により、矯正に関する情報交流を行った。そのほか、「刑法雑誌」(ドイツ・マックス・プランク外国・国際刑事法研究所)、「刑事法雑誌」(中華民国刑事法雑誌社)、「軍法専刊」(中華民国軍法専刊社)とも同様の交換により、矯正等に関する情報交流を行った。
- (ウ) スtockホルム犯罪学賞事務局、アジア太平洋矯正局長等会議及び国際矯正・刑務所協会(ICPA)に資金支援を行った。

ウ 出版活動

- (ア) 『少年院教育はどのように行われているか』3,000部発行
- (イ) 『刑事施設関係法令集』第3版 3,000部増刷

エ 広報活動

- (ア) 矯正協会発行の出版物の販売を通して、矯正広報に努めた。
- (イ) 全国矯正展及び各地区矯正展を法務省と共催するとともに、矯正展来場者用として、矯正協会発行の性格検査(P I S E)用紙を提供した。

2 矯正活動に対する支援助成

(1) 助成

ア 助成（応募型）

公募に応じて申請のあった犯罪被害者支援団体（7団体）に助成した。

イ 助成（その他）

日本矯正医学会，日本矯正教育学会，日本犯罪心理学会，日本特殊教育学会，日本栄養士会，矯正と図書館サービス連絡会，全国教誨師連盟，全国篤志面接委員連盟及び全国就労支援事業者機構に助成した。

(2) 矯正活動に対する支援

ア 被収容者に対する支援

(ア) 被収容者の矯正教育用の器材・図書その他の用品の整備，運動会・競技会・慰問・盆踊り・宗教関係等各種行事の実施に要する費用の援助を行った。

(イ) 受刑者能力・学力測定検査技術及び同用紙の提供

a CAPAS 能力検査採点システムを Windows7 対応版に改修

b CAPAS 能力検査 I 及び II を各 10,000 部増刷

(ウ) 被収容者居室用カレンダーとして，前期分（1月～6月）61,499部，後期分（7月～12月）60,190部を矯正施設に提供した。

イ 矯正施設に対する支援

(ア) 矯正施設の安定的な運営のための支援

a 次の施設の記念行事等に対して援助を行った。

東京拘置所，熊谷拘置支所及び新潟少年学院の落成式，横浜刑務所南方殉職者40周年特別慰霊祭

b 保安無事故表彰，作業表彰及び矯正関係功績等国の表彰のための援助を行った。

(a) 法務大臣の保安表彰受賞施設14庁（札幌刑務支所，帯広刑務所，釧路刑務支所，福井刑務所，豊橋刑務支所，奈良少年刑務所，島根あさひ社会復帰センター，広島拘置所，徳島刑務所，高松刑務所，松山刑務所，熊本刑務所，福岡拘置所，小倉拘置支所）

(b) 矯正局長から永年無事故支所表彰を受けた6庁（八戸拘置支所，一関拘置支所，上越拘置支所，米子拘置支所，今治拘置支所，天草拘置支所）

(c) 矯正管区長から表彰を受けた矯正施設66庁

(イ) 刑務所作業提供事業の実施

a 受注作業の拡充策として，有償支給方式の受注作業契約金額の増加を図ることなどにより，平成25年度の売上高が，17年振りに対前年度を上回ることができた。

b 従来からの計画生産・計画販売については，キャピック総合管理システムの活用により，生産状況と販売状況をより細かく把握し，

品揃えの充実に努めた。

- c 矯正展, 即売会等の効果的運営を図るため, 一定の基準により各々の即売会開催の是非を精査するとともに, ホームページ上に製品案内用の製品情報を拡充した。
- d 特約店・協定業者に, 製品情報等をより細かく提供するとともに, 各種売れ筋製品をパッケージ化し提供する試みも行い, 販売促進に努めた。
- e 新製品開発については, デザイナー等の外部専門家を迎え, 国の職員を交えての事業部製品開発研究会を行うことにより, 斬新なデザインの製品を開発することができた。
- f 製品及び原材料に係る在庫については, 年度末の生産中止品及び長期在庫原材料の処分方策を早期に検討し, 価格改定による販売及び廃棄処分を大胆に行い, 適正在庫の促進に努めた。

[平成25年度事業実績]

刑務所作業提供事業収益

54億2,064万円 (税込み)

当期一般正味財産増減額

3,960万円 (税込み)

ウ 矯正職員に対する支援

(ア) 「刑政」誌の発行

矯正職員の執務上の参考及び教養向上のための機関誌として, 会員に配布するとともに, 図書館, 大学, 研究機関等に配布し, また, 篤志面接委員, 教誨師, 検察, 司法, 保護関係者, 学識経験者等の購入希望に応じた。

A5版 約160頁 毎月1回 発行部数27,400部

(イ) 矯正職員の職務能力向上のため, 次の支援援助を行った。

- a 矯正研修所における高等科・中級管理科・中等科・応用科・初等科及び基礎科研修の成績優秀者表彰
- b 初等科及び基礎科研修員に対する教材贈呈
- c 八王子医療刑務所の准看護師養成研修における成績優秀者の表彰及び研修員への記念品贈呈
- d 矯正医官の学会・研究会等への参加費の援助
- e 矯正事業に功績のあった矯正職員25名に, 会長祝詞と副賞を贈呈

(ウ) 実務参考書, 研修教材等の出版

- a 研修教材『矯正心理学』(全訂版) 5,000部発行
- b 研修教材『統計で見る刑事政策』(三訂版) 1,000部発行
- c 研修教材『矯正教育学』(改訂版) 3,000部増刷
- d 研修教材『少年院法』(三訂版) 1,000部増刷
- e 研修教材『成人矯正法』(改訂版) 3,000部増刷

- f 研修教材『刑事政策入門』（改訂版）3, 500部増刷
- g 研修教材『矯正社会学』1, 300部増刷
- h 『保安執務資料』第9号 2, 300部発行
- i 『刑務官必携』（H26年版）14, 000部発行
- (エ) 在外研究・海外研修・海外留学等した4名の矯正職員を援助した。
- (オ) 矯正職員の武道奨励等のため、次の大会に援助を行った。
 - a 全国矯正職員武道大会施設対抗試合
 - b 全国矯正職員武道大会選手権試合
 - c 全国矯正職員女子武道試合
 - d 全国矯正職員武道大会高段者試合
 - e その他、全日本規模大会出場選手への激励
- (カ) 矯正職員の駅伝競走大会開催のための支援
- (キ) 刑事政策意見交換会を6月、10月、1月及び3月の計4回実施した。
- (ク) 矯正技法講習会の開催は、10月～12月、伊藤絵美氏（洗足ストレスコーピング・サポートオフィス代表）を講師に迎え、認知行動療法講習会を4回行った。

3 会員福祉事業

- (1) 永年勤続の会員である矯正職員1, 118名（30年勤続者691名、20年勤続者427名）を表彰し、記念品を贈呈した。
 なお、平成26年3月5日、KKRホテル東京において、谷垣法務大臣ほか多数の来賓列席の下、配偶者を同伴した30年勤続の代表者60名参列の表彰式典を挙行了した。
- (2) 平成25年度春・秋の叙勲を受けた会員に対し、会長祝詞と記念品を贈呈するとともに、叙勲伝達式出席者について祝賀会を開催した。
- (3) 矯正職員退職者で5年以上勤務の会員711名に対して、退職慰労金等を贈り、永年にわたる労苦をねぎらった。
- (4) 会員の結婚及び死亡等の慶弔に関して、会長から祝意（204名）・弔慰（37名）を表した。
- (5) 会員の職務上負傷等226名、家屋罹災等7名に対し、見舞状及び慰問金を贈ってお見舞いした。
- (6) 難病に罹った会員又はその扶養親族12名に対し、医療費の一助として総額54万円の見舞金を贈った。
- (7) 会員への助成として次の事項を実施した。
 - ア 手帳型日記帳の贈呈
 - イ 新採用矯正職員に対する「矯正協会のしおり」、「新任刑務官のしおり」、「新任法務教官のしおり」、白手袋、鍵ひもの贈呈
 - ウ 会報「全国元矯正職員親睦会会報」の発行送付

4 保険料集金事務受託事業

現職矯正職員及び退職矯正職員の福利厚生に資するため、損害保険会社と

の契約による団体扱い自動車保険料等の集金事業を行い、平成25年度は、加入件数6,826件であった。